

令和5年2月6日発行

ふる里からの  
「ふる里だより」  
2月号

今年の指針  
“交わる”

HP検索 :



あかるく やわらかく やさしく

社会福祉法人 隆明会  
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地

TEL (0957) 27-4500

FAX (0957) 27-4501

HP検索 : **デイサービスセンターふる里**



『 助成車両とスタッフへの感謝の雪の日♥ 』

お正月の気分もそろそろ抜けて、仕事と生活の現実と戦っている毎日です。コロナとインフルエンザと…。高齢者福祉施設では、今年5月まで毎週2回のコロナの高原検査を職員全員するようになりました。検査は早朝行いますが、毎回「クシャン！クシャン！」と、激しくしゃみを出しながら検査を行なっています。

さて、1月24日は全国的に厳しい寒さでした。九州でも0度を下回り氷点下の気温でした。前日の23日から学校が時間を10時にずらしての登校とか、水道管の破裂注意を呼びかけるなど、過去に例を見ない報道ぶりでした。24日当日は確かに寒さはありませんでしたが、昼間は雪が降っても晴れ間も見える時もあったので、さほど心配するような天気ではありませんでした。2時頃から雪が強くなったり、時に止んで空が明るくなったりでした。帰りの送る時刻になり、順番に乗せて出発しました。夕方4時半頃から急に横殴りの雪が降りだし、みるみる間に路面が凍り付き出しました。諫早との市境の鈴田峠に向かって、車が動かなくなりました。峠から私の所まで約3kmの渋滞です。「これは、車がスリップして立ち往生したのかもしれない。」と思いました。10メートル先の国立病院に曲がる信号機から曲がって引き返そうと思いましたが、その10メートルでさえ15分かかりました。信号機を曲がったら上り坂になっていて、迂闊にも私が運転する送迎車はノーマルタイヤでしたので、道がアイスバーン状態でしたから車が蛇行して対向車のぶつかりそうでした。怖い思いで運転しました。ファミリーマートが左側にあったのでその駐車場に入り、そこから助けを呼びました。『日本郵便年賀寄付金助成車両』（「湖畔だより」の9月号に掲載しました。）、10人乗りの福祉車両のリフトカーで迎えに来てもらいました。4WD車でその時にスノータイヤが付属で付いていましたのでそれをそのリフトカーに装着していましたので、利用者の方と私が乗り移って送って行きました。送迎の出発から約2時間かかっていましたが、利用者様を無事に家まで送ることが出来ました。生まれて初めてのアイスバーン道路での運転助成車両は安定した走りでした。日本郵便様には“感謝♥感謝♥”でした。その晩から急激に冷えて、1月25日の翌朝は、積もった雪が凍り付きアイスバーン道路でした。坂道などの多い厳しい所は、日本郵便様から頂いた車で、その他の経路は、チェーンを巻いてお迎えに行きました。日本郵便様から頂いた車では三往復使用し、多くの利用者様が喜ばれました。男性3人でお迎えに行きまして、女性は、センターで待つ身でした。皆さんが到着すると中庭をご覧になっていましたので「何だろう？」と中庭を見たら、小さな可愛らしい雪だるまが迎えてくれました。スタッフの演出上手には頭が下がる思いでした。27日には、その雪だるま解けて寝転んでいました。一生懸命に雪だるまなりに働いたのでしょう。「皆さん喜ばれましたよ。雪だるまさん。有り難う。」極寒の中、おかげ様で良い日を過ごすことが出来ました。センター長 森 隆敏





# 1月行事



1月行事は毎年恒例の『新年会』を開催いたしました。今年も正面に飾る絵を描いて頂きました。富士山からの初日と今年の干支であるウサギが描かれとても可愛らしい絵になっています。さらに玄関には“赤い鳥居”と“獅子”がお出迎え。どちらも湖畔の宿の男性職員さんの手作りのものです。完成度が高くまるでふる里が神社に来たような感覚を味わえました。新年の挨拶の後は、着物姿のセンター長と美しい着物姿の女性職員が、新年の挨拶の挨拶の後にお屠蘇とするめ・昆布・干し柿を配りました。皆さん着物姿に目を奪われながらお屠蘇を味わっていらっしゃいました。特に干し柿は「おいしい！おいしい！」と言いながらどんどん食べられていました(笑)。今年のレクリエーションは1日目と3日目は“ふる里カルタ大会” 2日目は“羽をつけて厄を払おう！”の二つを行いました。題名の通り内容はふる里にちなんでの絵札と読み札です。赤ウサギチームと青ウサギチームに分かれて行い、孫の手のような専用のカルタ取りを使って絵札を取ります。皆さん読み始めから必死になってカルタを探されとても熱い展開になりました。中には絵札が手前に有りなかなか見つからないことも(笑)。職員も交じって利用者さんに負けないくらいの熱い展開を見せてくれました。2日目は“羽をつけて厄を払おう！”は、可愛い絵の描かれた羽子板で、七福神の絵の描かれた的の中に羽をつけて入れるゲームです。“コン”といういい音を響かせながらどんどん羽を楽しそうについていらっしゃいました。新年早々、笑顔と歓声と笑い声に包まれた良い3日間になりました。

## 1日目ふる里カルタ大会



## 2日目羽をつけて厄を払おう！



## 3日目ふる里カルタ大会





## ふる里のお正月

1月行事は鳥居と獅子舞と着物姿にお出迎えされてのスタートとなりました。皆さん鳥居の中心にある紐についた鈴を鳴らしてフロアの方へと向かわれます。獅子がお出迎え以外にも、行事の中で登場するなど大活躍でした。今年も女性職員が煌びやかな着物を着て登場されました。レクリエーションでは獅子舞やひよっこ踊りなど、利用者の皆さんにとっても高評価でした。

お正月と言えば“おせち”です。3日間の昼食はとても彩りよく、美味しい“おせち”が登場、重箱に多彩なおかずとデザートが飾られていました。皆さん沢山口に運んでいらっしゃいました。

行事担当 田口 真一 松永 知子

## ひよっこ踊りと獅子



## 美しい着物姿に！



## 美味しいごはん



## ふる里おせち



## ちらし寿司 赤飯 炊き込みご飯

## 訪方問ボランティヤ

今回のお話の部屋は村部先生と筒井先生の二人が来られました。「鬼のふんどし」「いしやがよい」「おばあさんの馬」の3作品を朗読されました。どの話も面白いですので図書館や書店で見かけたときは、是非手に取って見てはいかがでしょうか。私のお気に入りには「鬼のふんどし」に出てくる地獄の鬼にも恐れずに「ふんどしが臭い」と言えるおばあちゃんです。(笑)。次回も楽しみです。





# 居宅介護サービスセンター ふる里

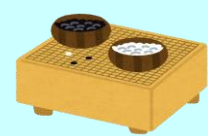
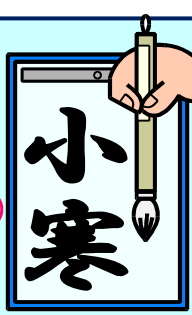

介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行い、介護全般の相談役であるケアマネージャー(介護支援専門員)が皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は**無料**です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



## 2月の行事予定

◆ふる里 2月行事 『鬼退治』  
1月31日(火)・2月1日(水)2日(木)

◆生け花教室 ~齊藤マサミ先生~ 10日(金)・27日(月)  
◆書道教室 ~中村朱実先生~ 6日(月)・16日(木)  
◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 24日(金)  
※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。  
◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 24日(火)  
◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後  
(1日、8日、15日、22日、予定)



## ~ 1月の趣味活動の作品 ~



書道教室



押し花教室



生け花教室

2月は厳寒の季節です。1月末のような大雪の天気は、これから何度も訪れることと思います。デイサービスをご利用される皆さんは、とても明るく楽しそうに生活されているので春のような暖かい雰囲気漂っています。1月26日に避難訓練を行いました。湖畔の宿、A型、デイサービスの合同で行いました。空気が乾燥する季節、高齢者福祉施設の火災も多くこの季節に起こっていましたので毎年実地しています。毎年行っているからでしょう。職員の訓練への意識も高かまっていて、皆さん避難開始から完了までの時間も年々短くなって、とてもいい訓練となりました。立春から春がどんどん近づいてきます。しかし流行風邪もあります。体調を崩さずに元気にふる里に来られることを願っています。編集後記：田口 真一